

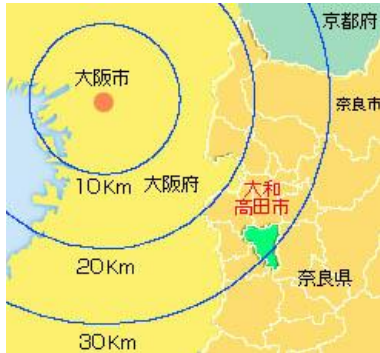
# 地域包括ケア取組状況について



大和高田市

## 1 大和高田市の現状について

(平成29年1月1日現在)



市の面積	16.48 km <sup>2</sup>
総人口	66,784人
65歳以上の高齢者	19,175人
高齢化率	28.7%
第6期1号保険料	5,860円
要介護認定率	約17%
地域包括支援センター設置数	直営1か所

大和高田市(やまとたかだし)は、奈良県中西部に位置する市。中和・葛城地域の中核都市である。奈良県で最も人口密度が高い。



## 2 H27全体構想策定に向けて実施した取組について

### (1) 取組内容

#### 【目的】

2025年に向け、市立病院を持つコンパクトシティのグランドデザインを描く。

- 介護医療の連携、認知症施策の展開、在宅での生活支援の充実、健康増進や介護予防等積極的なセルフケア（自助）の推進を地域包括支援センターと市立病院、市医師会、（診療所・病院）、歯科医師会、薬剤師会等の医療関係者や介護事業所の連携を図る。
- 大和高田市都市再生整備事業等の基本計画に提言を行う。

## 2 H27全体構想策定に向けて実施した取組について

### (1) 取組内容

#### 【事業内容】

コンサルタントを介入させ、多角的な視点を持ちながら本市独自の全体構想を策定する。

- ①「2025年を見据えた『公的病院を持つコンパクトシティ』の地域包括ケアの在り方」について、市全体の部局にて協議し、提言書・計画書をまとめる。
- ②市に現在存在する医療介護等の拠点の調査を行うとともに、行われている事業や施策の関連性、類似性、特異性について検証する。
- ③拠点整備の一環として、平成28年4月開設予定の市民交流センターの中に「暮らしの保健室」を設置するなど、ソフト面での指針をまとめあげる。
- ④多職種連携の「地域ケア会議」や「大和高田市在宅医療・介護連携推進協議会」、行政内の「大和高田市地域包括ケアシステム会議」を開催する。

## 2 H27全体構想策定に向けて実施した取組について

### 全体構想策定にあたり工夫した点

- 1.大和高田市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画等との整合性を保つ。
- 2.市の関係部署の職員、関係職種の参加によるワークショップを開催する。
- 3.ワークショップから明らかになった課題等を整理し、その課題に取り組むべき道筋をロードマップに反映させる。
- 4.ロードマップは、地域包括ケアシステムに関わる市の各部署がシステム構築を具体的に推進する為の過程を明示する活動計画とする。
- 5.ロードマップの策定は、取組みの目標と活動の因果関係が明示されるとともに、成果を計測する為の指標を同時に提示するものとする。

### 3 H27に策定した全体構想に基づきH28年度実施する取組について

#### (1) 取組内容

「大和高田市の地域包括ケアシステムの姿」に基づいた各種事業・業務の実施。

- 地域支援事業全体の見直し(各事業の連携・連動を視野に入れた見直し)
- 地域ケア会議の実施
- 介護予防・総合支援事業の円滑な実施に向けた準備 → 平成29年度全面移行
- 包括的支援事業の充実
  - ①在宅医療・介護連携推進事業・・・平成26年度～実施
  - ②認知症総合支援事業・・・平成27年度～実施
  - ③生活支援体制整備事業・・・平成27年度～実施
  - ④地域支援事業の運営としての基本事業・・・平成18年度～実施
    - ・居場所づくり・・・平成21年度～実施

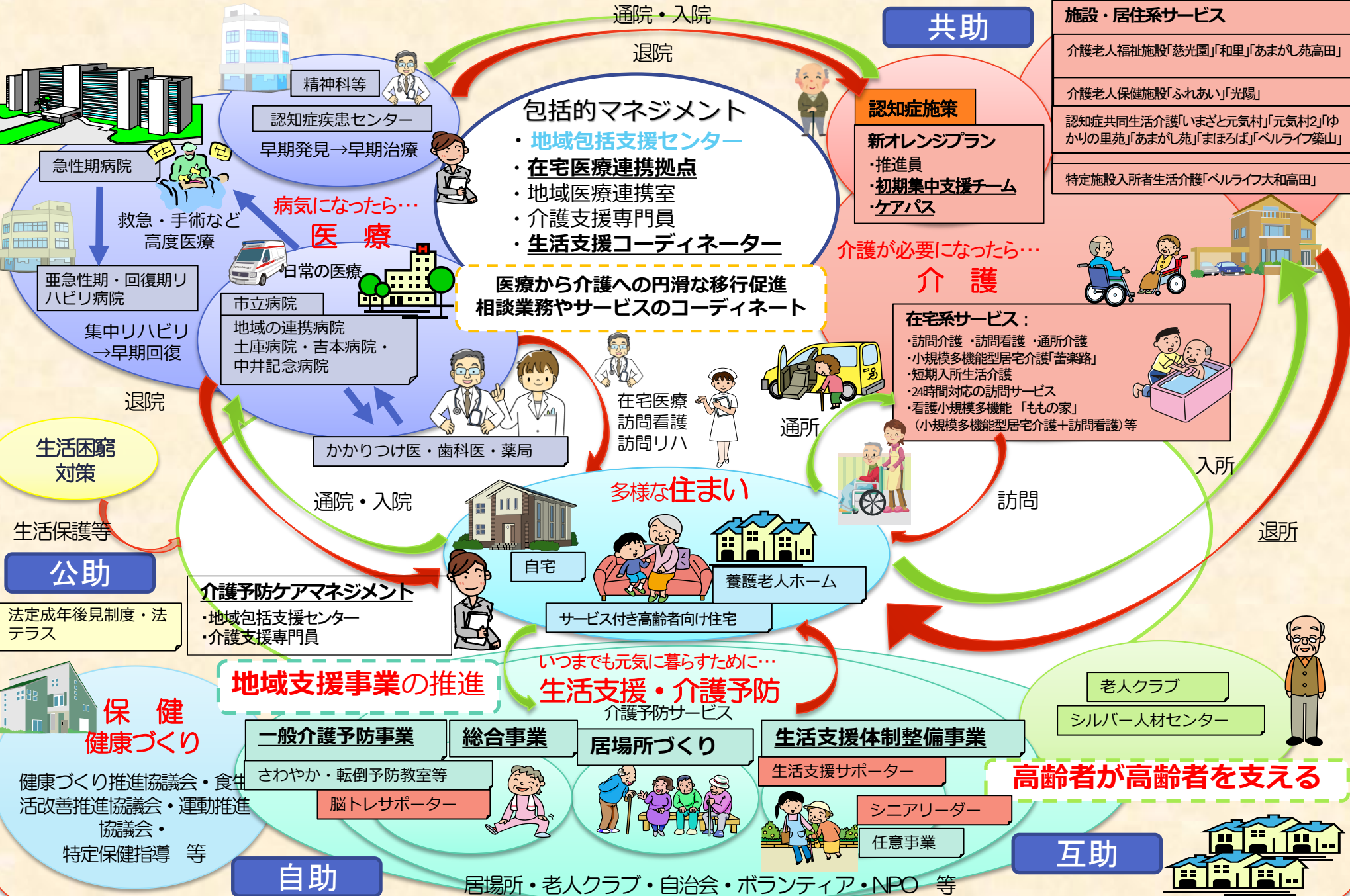
#### 取組実施にあたり考えている工夫及び全体構想策定による効果

「全体構想策定」により、2025年に目指す方向性を再認識できた。

日々の業務を地域包括ケアシステム構築に位置づけることで、課員のモチベーションサポートができた。

# 地域包括ケアシステムの構築について

# 大和高田市の地域包括ケアシステムの姿



通院・入院  
退院

共助

**施設・居住系サービス**

- 介護老人福祉施設「慈光園」「和里」「あまがし苑高田」
- 介護老人保健施設「ふれあい」「光陽」
- 認知症共同生活介護「まごと元気村」「元気村2」「ゆかりの里苑」「あまがし苑」「まほろば」「ペルライフ築山」
- 特定施設入所者生活介護「ペルライフ大和高田」

**認知症施策**

新オレンジプラン

- 推進員
- 初期集中支援チーム
- ケアパス

**包括的マネジメント**

- 地域包括支援センター
- 在宅医療連携拠点
- 地域医療連携室
- 介護支援専門員
- 生活支援コーディネーター

介護が必要になったら…  
**介護**

**在宅系サービス：**

- 訪問介護・訪問看護・通所介護
- 小規模多機能型居宅介護「蓄楽路」
- 短期入所生活介護
- 24時間対応の訪問サービス
- 看護小規模多機能「ももの家」  
(小規模多機能型居宅介護+訪問看護)等

医療から介護への円滑な移行促進  
相談業務やサービスのコーディネート

**医療**

病気になるたら…

急性期病院  
救急・手術など高度医療  
亜急性期・回復期リハビリ病院  
集中リハビリ→早期回復

日常の医療  
市立病院  
地域の連携病院  
土庫病院・吉本病院・中井記念病院

在宅医療  
訪問看護  
訪問リハ

**多様な住まい**

通院・入院  
退院

生活困窮対策  
生活保護等

**公助**

法定成年後見制度・法テラス

介護予防ケアマネジメント

- 地域包括支援センター
- 介護支援専門員

自宅  
養護老人ホーム  
サービス付き高齢者向け住宅

**地域支援事業の推進**

いつまでも元気に暮らすために…  
**生活支援・介護予防**  
介護予防サービス

**一般介護予防事業**  
さわやか・転倒予防教室等  
脳トレサポーター

**総合事業**

**居場所づくり**

**生活支援体制整備事業**  
生活支援サポーター  
シニアリーダー  
任意事業

**高齢者が高齢者を支える**

**保健 健康づくり**

健康づくり推進協議会・食生活改善推進協議会・運動推進協議会・特定保健指導 等

**自助**

居場所・老人クラブ・自治会・ボランティア・NPO 等

**互助**



# 大和高田市

## 4 取組の進捗状況について ※平成28年12月時点

### ①各取組の進捗状況について

- 地域支援事業全体の見直し→総合事業実施に際し、組み換え、見直しの終盤
- 地域ケア会議の実施→圏域別に開催(3回)。個別ケア会議は随時開催(36回)。
- 介護予防・総合支援事業の円滑な実施に向けた準備 → 平成29年度全面移行の終盤
- 包括的支援事業の充実
  - ①在宅医療・介護連携推進事業・・・「在宅医療・介護連携ハンドブック」作成、配布。
    - \* 医師会・歯科医師会のデータ配布済み
    - \* 薬剤師会・居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションのデータ収集済み
  - ②認知症総合支援事業・・・認知症初期集中支援事業実施し、改善例3例
  - ③生活支援体制整備事業・・・年度内にコーディネーター機能の担当を決定
  - ④地域支援事業の運営としての基本事業
    - \* 居場所づくり・・・新たな居場所の立ち上げ、介護予防を取り入れた内容の充実

### 取組実施における課題・困難であった点・反省点

既定の協議会や会議を計画的に運営できなかった。  
個々の事業の実施も急務であり、多職種の見意見交換が十分にできなかった。



# 大和高田市

## 5 部局横断的検討体制について

### ①部局横断的検討体制の構成メンバーについて

大和高田市地域包括ケアシステム構築会議

●委員長：副市長

●副委員長：財務部長・保健部長

●委員：市民部長・福祉部長・環境建設部長・上下水道部長・教育委員会事務局長・市立病院事務局長・議会事務局長・企画法制課長・財政課長・自治振興課長・社会福祉課長・保護課長・健康増進課長・介護保険課長・保健医療課長・都市計画課長・生涯学習課長・地域包括支援課長

●事務局：地域包括支援課

### 部局横断的検討体制における検討内容・立ち上げに当たって苦労した点

構成員が、「高齢福祉」だけの問題にとらえて、積極的な参加ではなかった。

そのため、講義形式による周知と問題提起を行うことから行った。

平成28年度当初の新たな拠点の設置と平成29年度からの総合事業実施に対し、時間や手間を取られる結果となり、検討会の実施が思うようにいかなかった。

6 平成28年度スケジュール（※平成28年12月時点）

4月

- 地域包括支援センターだよりでの情報提供
- いきいき相談室(暮らしの保健室)開設(4月24日)
- 介護保険課・地域包括支援課合同会議及び共同作業開始



5月

- 事業担当の決定と打ち合わせ(～随時)

6月

- 地域包括支援センターだよりでの情報提供
- サービス事業者及びケアマネに予防訪問介護・通所介護の実態調査
- 生活支援体制整備協議会開催(6月23日)

7月

- 地域包括支援センターだよりでの情報提供

8月

- 地域包括支援センターだよりでの情報提供
- 事業所向け説明会の開催(8月24日) ワークショップ形式による意見交換、情報交換と意向確認
- 生活支援体制整備協議会開催(8月31日)

認知症総合支援事業(初期集中支援チーム・オレンジカフェ・認知症サポ)

生活支援体制整備事業(生活支援サポーター)

包括的継続的ケアマネジメント事業(シニアリーダー・ケアマネ支援)

在宅医療・介護連携推進事業(ハンドブック・連絡票)

6 平成28年度スケジュール（※平成28年12月時点）

9月

- 地域包括支援センターだよりでの情報提供



10月

- 地域包括支援センターだよりでの情報提供

11月

- 地域包括支援センターだよりでの情報提供
- 市民向け説明会の開催（11月18日）
- 圏域別地域ケア会議（11月22日）



12月

- 看護小規模多機能事業所開設（12月1日）
- 圏域別地域ケア会議（12月1日）
- 事業所向け説明会の開催（12月21日）

1月

- 市民向け説明会の開催（1月19.23.31日）

認知症総合支援事業（初期集中支援チーム・オレンジカフェ・認知症サポ）

生活支援体制整備事業（生活支援サポーター）

包括的継続的ケアマネジメント事業（シニアリーダー・ケアマネ支援）

在宅医療・介護連携推進事業（ハンドブック・連絡票）

# 7 今後の展開方針について

## ○今年度に実施した取組の次年度の展開方針

市民の3分の1を占める高齢者が可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じた日常生活を営むことができる

在宅生活を希望する要介護者が、希望通り在宅での生活を継続できる

在宅での身体介護を支えるための介護サービスが整備され適切に利用される

- 看護小規模多機能
- 排泄ケアの技術向上
- 介護人材への期待
- サービス提供体制の効率化

在宅医療・看護体制が整備され、適切に利用される

- 在宅療養支援体制
- 訪問看護利用促進

地域における多様な主体による生活支援体制が構築される

- 地域ケア会議・介護保険外サービス
- 生活支援体制整備協議体・コーディネート・人的資源発掘

多様な住民の集まる住民主体の通いの場、居場所の整備が進む

- 既存の通いの場
- 新規の通いの場
- 地域づくり・地域住民・学生向け

認知症の人をサポートする地域の基盤が形成される

- 認知症変化
- サポーター・お守りカード・オレンジカフェ
- 専門職の連携
- ケアパス・初期集中支援チーム・疾患医療センター

ゴミ屋敷等、福祉的な課題を持つ住民へのアプローチが確立される

- 問題解決のためのフロー
- 情報共有

## 7 今後の展開方針について

### ○今年度を実施した取組の次年度の展開方針

第6期介護保険事業計画の総括・検証

第7期介護保険事業計画の策定

●介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の分析

●地域包括ケアシステムの構築・・・あらゆる施策の連動・連携

全体構想に盛り込んだ具体的な活動の実施

●介護人材に関する調査

●介護人材の技術向上

●介護サービス事業者の経営、運営に関する課題把握

●在宅医療・看護・介護の連携に向けた研修会による情報や意識の共有

●生活体制整備事業を通じて、生活支援コーディネーターを配置

●圏域別地域ケア会議の開催

●居場所マップの作成と、各居場所の特性を活かした展開の支援

●認知症ケアパスの作成

●認知症サポーターの養成と活動支援

●職域、学生等への啓発

etc